

Parent
Teacher
Association

PTA いしかわ

No.
185
令和7年2月20日発行：石川県PTA連合会 金沢市尾山町10-5 石川県文教会館内
https://ishikawa-pta.jp

主 題

大人が自ら学び、行動することで、
子どもたちを取り巻く環境の変化に対応しよう！



INDEX

- 石川県PTA大会
・会長挨拶 来賓祝辞 ——— 1面
・記念講演 猿渡智衛氏 — 2・3面
・地区別研究指定 ——— 2・3面
・専門委員会報告 ——— 4面
・表彰 ——— 3・4面

あいさつ

石川県PTA連合会

会長 宇田 直人



本日は第71回石川県PTA大会にご参加いただき、ありがとうございます。日頃より石川県PTA連合会の

活動に対して、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。昨年度の本会創立75周年記念第70回石川県PTA大会に際しましては、多くの皆さま方のご参加を賜りましたこと、心より御礼を申し上げます。

さて、1月1日、能登地方を震源とする令和6年能登半島地震において被災された皆さまに、また9月20日、能登地方を襲った豪雨で被災された皆さまに、心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興・復旧を願っております。新型コロナウイルス感染症が第5類に引き下げられ、少しずつ以前のような教育環境に戻りつつある中で、たいへん大きな災害。私たちを取り巻く環境もさらに大きく変わるうとし、インターネット技術の進展と活用の拡大に伴い、私たちのコミュニケーションのあり方や生き方にも影響を及ぼしています。PTA活動を取り巻く状況はさまざまです。それぞれの単位PTAで行われている活動も、ICTを活用したり、参加のあり方を多様化したりと工夫されていると伺っております。この社会の急激な変化に対し、私たち自身の学びも深めていかななくてはなりません。その学びを生かし行動することによって、子どもたちを取り巻く環境の変化に対応でき

第71回 石川県PTA大会

日時 令和6年11月30日(土) 14時00分
場所 石川県地場産業振興センター 大ホール

るのではないのでしょうか。

今日の講演は、文部科学省のコミュニティスクールマイスターの石川県担当として活躍されています猿渡 智衛氏をお招きいたしました。猿渡さんから能登半島地震や豪雨災害でたいへん被害の大きかったこの私たちの生きている石川県を、これまでのコミュニティスクールマイスター経験を生かして、地域がどのように立ち直っていくのか。をこの講演を通して、皆さまと共に学び、新たな行動につなげていきたいと考えています。そういった意味で、今日の講演をとても楽しみにしております。

話は変わりますが、私はこの秋に開催されたいくつかの地区別研究指定発表会に参加してきました。そこで思ったことは、私は皆さまの所属する単位PTAのことを、知っているようで実はあまりよく知らなかったのだなという思いをしたことです。例えば、奥能登地区の能登中学校PTAの発表で、震災により中学校の体育館が地域の方の避難所として使われているために、その体育館で中学校3年生の卒業式は別会場となっていたらしいのです。しかし、中学校3年生の生徒さんたちが、最後は自分たちの学び舎である体育館で卒業したいという思いをもち、その思いを町の教育委員会にお願いに動いたり、またそれをPTAである大人たちが学校側と一緒に掛け合ったりして、一旦避難所である体育館を中学校3年生のために移動していただく働きかけをしたそうです。これこそ、PTAという組織が、目の前にいる子どもたちのために連携して取り組んだ素晴らしい姿です。また、志賀町富来小学校PTAの発表では、能

二 祝辞

石川県教育委員会教育長

北野 喜樹



第71回石川県PTA大会が、今年も盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。また、開会にあたり、一言、ご挨拶を申し上げます。

皆さま方には、平素より、本県の教育行政、とりわけ学校教育の充実にご理解とご協力を賜っておりますことに、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

また、この後表彰を受けられる方々をはじめ、皆さま方におかれましては、日頃から、各学校におけるPTA活動を通じ、全ての子どもたちの健全育成にご尽力いただいていることに対し、心から敬意を表します。

それとともに、本年の能登半島地震、奥能登豪雨に際して、発災以降、児童生徒の学びを継続するため、様々な形でご支援いただいていることに、厚くお礼申し上げます。

ご承知のとおり、少子高齢化や人口減少、デジタル化の一層の進展、多発する自然災害など、教育を取り巻く環境は、大きく変化しています。

こうした先行きが見通せない時代にあるからこそ、教育には、新たな価値を創造しながら、たくましく生き抜く人材を育てることが期待されており、学校と地域、保護者が一体となって、この期待に応えていかなければならないと考えております。

一方、いじめや不登校、教員の長時間労働など様々な課題が山積しております。学校現場の教員には、懸命に対処していただいておりますが、県教育委員会としても、市町教育委員会や学校現場、そしてPTAの皆さま方としっかりと連携して力を合わせていくことが肝要と考えております。

結びに、皆さまには、これから「学校」「家庭」「地域」を結び架け橋として、教育力の向上にご尽力をいただくことをお願い申し上げますとともに、本日の大会が実り多きものとなりますよう、そして、石川県PTA連合会のみならず、ご発展を祈念いたしまして、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

有害情報から子どもたちを守るために

- ☑保護者は、子どものインターネット端末の所持や利用に関して責任を持ち「フィルタリング」や「ペアレンタルコントロール」を設定しましょう。
- ☑家庭でインターネットの利便性や危険性等を話し合い、子どもと一緒にルールをつくり、守りましょう。
- ☑子どものインターネット端末の利用時間は、夜9時までを基本としましょう。

石川県PTA連合会 小中学生総合保障制度

学校の休みの日でも

[こども総合保険+自転車総合保険]

割引率 約41%
(2025年度)

大切なお子さまを補償期間(保険期間)中、

1日24時間補償します

加入実績 (2025年1月時点) **17,795件**

石川県では、令和6年4月1日から自転車損害賠償保険の加入が義務化されました。

- ご契約に際しては、事前に重要事項説明書を必ずご確認ください。
- 引受保険会社の損害保険募集人は、保険契約の締結の代理権を有しています。
- この広告はパンフレットの内容を補足するために、プラン内の補償項目につき概要をご説明したものです。詳細については、パンフレット記載の取扱代理店・扱者または引受保険会社にお問い合わせください。

自転車事故で
相手に大ケガを
させてしまった…



自宅学習中に
学校貸与端末を
誤って落とし破損した



[引受幹事保険会社] 2025年1月現在の内容です

AIG損害保険株式会社 金沢支店

〒920-0919 金沢市南町4-60 金沢大同生命ビル2階
☎076-222-0005 (平日9:00~17:00)

[担当保険代理店]

ティ・アイ・エス株式会社
金沢市北安江2-24-8株式会社セーフティゲート
金沢市横川7-50-1 ハナビル横川8階株式会社ライフブレイン
金沢市駅西新町3-9-24 TYビル2Fエフピージャパン株式会社
七尾市川原町28 AMANOビル2階

割引率について

パンフレットで案内している保険商品の算出基準である保険料(加入者数20名未満の団体における保険料)に対しての割合を示します。適用される割引率は前年度の加入者数等に応じて決定します。

- ・加入書類は2025年度入学者・始業式後等に学校を通じて配布します。(一部地域を除く)
- ・既にご加入されている方は、3月頃に「自動更新のご案内」を郵送しますので、ご確認ください。
- ・制度の詳細につきましては、各学校で配布されるパンフレット・重要事項説明書をご確認ください。ご不明な点がございましたら上記の引受幹事保険会社までご連絡ください。

記念講演

地域コミュニティを維持する
“要”としてのこれからのPTA活動

CSマイスター
猿渡 智衛氏



弘前大学大学院地域社会研究
科地域政策研究講座後期博士課
程修了。博士(学術)。鎌倉市放
課後かまぐらっ子推進参与。専
門は地域コミュニティ論、社会
教育、児童福祉。青森県総合学
校教育センター、横浜市青少年
育成協会、横浜市立小学校、文
部科学省生涯学習政策局社会教
育課を経て、現在は原発事故被
災地の福島県楡葉町で指導主事
兼 地域学校協働センター長を務
める。

演題を「地域コミュニティ
を維持する。要」としてのこれ
からのPTA活動」地域学校
協働活動の担い手としての一層
の期待とした。子どもたちを
取り巻く環境がすぐく変わって
きている今、子どもたちのため
にどのような未来をつくってい
くかが大切である。そんな意味
でも今、石川県として「石川モ
デル」をつくっていくことは
子どもたちにはいいことだと思
える。

まずは、能登半島地震、能登
豪雨において被災された方にお
見舞いを申し上げます。

わたしは幼少期を横浜で過
した。山を駆け巡ったり、当時
流行っていたテレビゲームを友
だちと楽しんでいた。皆さんは
どのような幼少期を過ごされて
いたでしょうか。自分たち自身
が過ごしてきた時というのは、
こんな思い出があったなあとか、
これ楽しかったなあとか、これ
つまらなかったなあという思いが
ある。子ども時代の過ごし方とい
うのは、子どもたちとの関わり
の上で一つのだいいなモデルだ
と思っている。なので、今、福

島県の子もたちと関わってい
るが、自分のバックボーンがそ
の幼少期にあつたので、一緒に
山に行こうとかいう話になつて
いく。ただ、技術変革の激しい
10年後、子どもたちを取り巻く
環境を的確に把握することが必
要で、時代がものすごいスピー
ドで動いていることを実感して
いる。

毎月、門前地区と関わってい
る。地域学校協働活動の一つに
放課後子ども教室があり、自分
はライフワークとしてやってい
る。その中で地域の方や保護者
の方とも交流をしている。して
いる理由は、輪島を勇気づけた
いこともあるが、楡葉町の子
どもたちの経験から、自分たち
がなぜ支援を受けているのかわ
からない子どもたちが多かった。
熊本や石川の様子を直接見て
支援して、初めて自分事として
被災というものを理解できたの
である。こういったことは学校
教育だけではできない部分を社
会教育や家庭教育として学ぶ意
義であり、社会教育の持つポテ
ンシャルだと思う。PTA活動
は社会教育であり、皆さんは地
域学校協働活動を担われている
のである。これからは、子ども
たちを核として地域をどのよう
に作っていくか、どう維持再生
していくかが日本に大切である。
石川県に住む皆さんだからこそ
感じることを石川県から「石川
モデル」として発信してほしい。

第1部

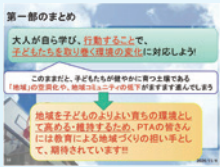
地域学校協働活動の担い手とし
て、PTA団体の皆さんに期待
すること

福島県は東日本大震災後、戻っ
てきていない方がまだ多いのが
現状である。また、ネットショッ
ピングをする人の割合がここ20
年でものすごく増えていること
もデータで示されている。つま
り、大手スーパーが休業してい

ることや、地域でものを購入す
ることもなくなつてきているこ
とから、子どもたちを取り巻く
環境が都市化が進み、デジタル
が進み、変わつてきているのだ
ということ。PTAの研究主題
「大人が自ら学び、行動すること
で、子どもたちを取り巻く環境
の変化に対応しよう」からする
と、今、大人たちはどう「行動」
するの考える上で、「地域学校
協働活動」を紹介してみたい。

まずは、地域学校協働本部
とは何か? 名称の変遷はある
が、単なる学校支援活動ではな
い。地域やPTAの方々が一方
的に学校を支援するというので
は、学校側にはよいが、する側
はあまり良さが実感できない。
今、めざしている持続可能なた
めには、学校のためだけにじゃ
なく、地域の人にとつてのものに
なる必要がある、だからこそ地域
づくりにつながるものである。

さて、社会教育とは何か。社
会教育は、学校教育外教育と言
われている。成人教育だけでな
く、子どもたちの教育も最近
入ってきている。地域学校協働
活動はPTAの方だけがするの
ではなく、地域に関係するいろ
んな団体がつながって、ネット
ワークをつくり、地域全体で行
うのが目標である。石川県はす
でに様々なPTA活動が地域学
校協働活動になっているのが、
石川県の素晴らしいところだ
と思う。さら



にPTAの
皆さんが
ハブにな
っている
団体とな
がつてい
くと盛り
上がつて
いくと思
う。

本がよくなると思う理由は以下
の3点。
1 当事者意識、2 持続可能
性、3 多様性である。

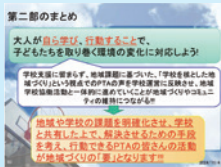
第2部

被災コミュニティの復興・創生
のための地域学校協働活動の
取り組み

コミュニティスクールについて
紹介したい。コミュニティス
クールとは地域や保護者の方が
学校の運営に参画すること。学
校や子どもたちの困り感は何か。
それを理解し解決する機会がコ
ミュニティスクールにはある。
皆さんの地域の課題は何か?
過疎化による高齢者のことがそ
うである。地域の担い手が減
少しているのは地域の課題であ
ろう。そこで、コミュニティス
クールのポイントとしては、学
校が学校の課題だけを話すので
はない。保護者がPTAの課題
だけを話すのではない。学校と
家庭と地域がお互いに連携して
課題を解決していくことが、文
部科学省の目指している学校を
核とした地域作りなのである。

楡葉町は全町避難を経験した。
公民館活動がなくなった。子ど
もの居場所がなくなった。学校
と地域がバラバラになつて、見
守り活動もなくなった。近隣に
住む友だちがいなくなった。教
員が若くなった。PTA組織が
弱くなった。地域における日常
的な交流の機会が減少。そこで
PTAと地域を核とした学校運
営協議会を設置し、学校の課題
を、学校だけで話すのではなく
学校と地域と保護者が考えを出
し合う。そして、学校の方針と
して、地域

の子もた
ちを地域
にニーズに
反映させ
て、みんな
で一つの
方向に



大会は、中学生の「少年の主張」の発表でスタートいたしました。
少年の主張 発表者と発表題

「海を越えた架け橋」
金沢市立長町中学校2年 北野 はなさん

「光と影との共存」
加賀市立東和中学校3年 中出 愛梨さん

※発表の内容は、石川県健康運動
推進本部ホームページ中の「令
和6年度少年
の主張 石川
県大会」発表
記録集に掲載
されています。



表彰式で
は、北野教
育長より石
川県教育委
員会優良P
TAの表彰
をはじめ、
宇田会長
より功労の
あつた団体・個人、広報紙コ
ンクール・三行詩コンクール
の入賞団体や個人の表彰を行
いました。また、功労のあつ
た団体・個人を代表して、豊
島 真実さん(野々市市)より
謝辞をいただきました。



地区別研究指定

小松市立 安宅中学校PTA

研究主題

「学校・家庭・地域の連携で育てる
心豊かな生徒」

20年以上前から地域、保護者の協
力のもと資源回収を行っている。こ
の活動は、生徒が自主的にリサイク
ル活動を体験することで奉仕の精神
を育むことを目的としているが、地
域の方々からも毎年期待される活動
となっている。

また、海岸清掃として、PTA総
務委員会がトラックによるゴミの回
収作業等の支援を行っている。全校
生徒が梯川の両岸に広がり、海岸に
流れ着く大量のゴミを、分別しなが
ら黙々と回収する。子どもたちから
は地域のために貢献できた喜びや一
生懸命に取り組んだ自分自身を肯定
する感想が多く見られた。



金沢市立 大徳中学校PTA

研究主題

「家庭と学校の連携による、全世代の
情報リテラシーの向上を目指したデ
ジタル・シティズンシップ」に基づ
いた研修の実施と効果の測定」

GIGAスクール構想で導入され
た学習用端末の利用が進む一方、端
末導入と新型コロナウイルス感染症
の流行の時期が重なつていたため、
導入の目的や端末の使用用途などの
説明が十分に保護者に行き届かな
かった。来年度から開始される新金

白山市立 河内小学校PTA

研究主題

「家庭・地域と学校が協力し、笑顔で
チャレンジするかわちっ子を育成しよう
世界ジオパーク・SDGsの
取り組みを通して」

河内の自然の豊かさを子どもたち

2022 年秋リニューアル。加賀のお殿様が饗応していたこの場所で、
そのおもてなしの心を今に伝えます。



朝食・昼食・カフェ・ご宴会
〒920-0936 石川県金沢市兼六町 1-20
TEL 076-261-3783 FAX 076-222-0177

兼六園内日本最古の噴水前



「福祉型ビジネススクール」 障がい者ビジネススクール ビジネスを学ぶ「学校」です

- 最大4年間学校生活
- 通学型と在宅型、併用型
- 入学金授業料無料

特別な支援を必要とする方たちが、社会で活躍できるよう社会人基礎力をはじめ、パソコン、一般教養、
キャリア教育などのビジネス基礎を学び、身につけて、多様な業種・職種へのハイレベルな就職を目指しています

〒920-0854 金沢市安江町1番1号 グランドパレス武蔵ヶ辻1階
TEL:076-254-0962 FAX:076-254-0963
Mail:kanazawabs2022@gmail.com Website:https://www.schola2012.jp
金沢市指定障害福祉サービス事業所:1710105717 就労移行支援事業と自立(生活)訓練事業による多機能型事業所

日本PTA全国研究大会石川大会開催にあたって

本年1月1日に能登地方を震源とする令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福を謹んでお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまに対し心よりお見舞い申し上げます。

全国の皆さまより温かい励ましのお言葉をいただきました。そのメッセージの一言一言に元気をいただいたと被災された方もお礼を述べられていました。また、地域のPTA連合会、公益社団法人日本PTA全国協議会を通じて、支援金をお寄せいただきました皆さまに、厚く御礼申し上げます。

石川県PTA連合会では、お寄せいただいたお気持ちを具体的な形にすべく、PTAだからこそできる支援活動に努めております。

今回、全国大会開催について、石川県内のPTA会員に意見をお聞きし、協議を重ねました。そのうえで、第73回日本PTA全国研究大会並びに第81回日本PTA東海北陸ブロック研究大会石川大会を開催することといたしました。十分な準備ができないこともあるかとは思いますが、精いっぱい努めてまいります。

全国の皆さまの石川県へのお越しをお待ちいたしております。



大会
シンボルマーク

◆ 8月22日（金） 分科会日程（案）と会場

13:00 13:30 13:40 15:00 15:15 16:35 16:45

受付	開会	基調講演	休憩	実践発表、パネルディスカッション等	閉会
分科会		領 域	開催市	会場名	
第1分科会		家庭教育	小松市	石川県小松芸術劇場 うらら	
第2分科会		学校教育	加賀市	加賀市文化会館	
第3分科会		地域連携	七尾市	七尾市文化ホール	
第4分科会		人権教育	白山市	白山市松任文化会館 ビーノ	
第5分科会		広報活動	金沢市	金沢歌劇座	
第6分科会		今日の課題「SDGs」、「ウェルビーイング」	野々市市	野々市市文化会館 フォルテ	
特別第1分科会【日本PTA担当】		今日の課題	金沢市	石川県立音楽堂 邦楽ホール	
特別第2分科会【文部科学省協力】		今日の課題	金沢市	石川県立音楽堂 コンサートホール	

◆ 8月23日（土） 全体会日程案と会場

8:00 9:00 9:30 10:30 11:50 12:20

受付 東陸ブロック大会	アトラクション	開会行事	記念講演	閉会行事、大会宣言、次年度開催地PR
----------------	---------	------	------	--------------------

全体会メイン会場 石川県立音楽堂コンサートホール（県内7会場をインターネット回線で結び開催）

主催：公益社団法人日本PTA全国協議会、東海北陸PTA協議会、石川県PTA連合会

向かって動き出した。コミュニケーションスクールとして、地域のみならず子どもたちを育てていくというものである。

第3部

地域づくり政策としての平時のPTA活動の重要性と意義

見守り活動について、学校や子どもにとってのウェルビーイングは比較的思いつきやすいが、PTAや地域にとつてのウェルビーイングは、なかなか出てこない。それは無理をしてすることではない。する人にとつて負担にならないように。大切なことはみんながWIN-WINになる必要がある。持続可能な学校地域の関係、持続可能なPT

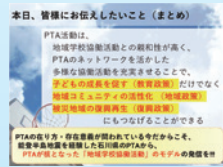
A活動になってほしい。いろんなものをいろんな形でいろんな方々が地域に主体的に参画していただくことがいい。

最後に、これらはPTAの方だけの話ではなく、地域づくりの話である。学校をエンパメントしたり、学校を核とした地域づくりをすることは、総じて地域のためになっているのである。PTAの人たちが自分自身が地域づくりに参画しているんだという思いが構成され、「シビックプライド」という自然自らのうちに自分の地域を愛する心が高まっていくのである。そうすると、子どもたちの教育環境だけではなく、我々が地域全体に対して目を向けていき、子

どもたちがこれから生きる町・地域をより良いものにしていくのではないかと思っている。ご自身のお子さんやお孫さんを含めた町子どもたちをトータルでいい環境下で育てていく土壌をこの地域学校協働活動を入り口にして、PTA活動が主体となって窓口となって展開していくとありがたいと思う。

研修主題が「大人が自ら学び、行動すること」である。可能であればコミュニケーションスクールを含めて、学校や地域の課題をとらえていただき、具体的にできる人が、できる形で、いろんな形で学校運営協働活動に参画していただき、多様な環境の変化、とくに、石川県においては、

能登半島地震と能登豪雨などの自然災害に向き合っているところも「石川モデル」として発信していただけたらと思う。PTAは社会教育団体である。学校教育外の社会教育の範囲、放課後、土曜日曜、長期休みなど多様なところで参画していただいたり、地域づくりに参画していただくことが社会教育である。社会教育であるPTA活動を広げていただき、PTAが核となつた「石川モデル」の地域学校協働活動をつくっていただけたらと思う。



沢型学校教育モデルで「デジタル科」の新設が決まったことも踏まえ、改めてここまでの「学びのデジタル化」について保護者がどのように考えているか意識調査を行い、現在の課題を確認して必要な取り組みを行ってみたい。

調査mp結果として、新金沢型学校教育モデルで新設されるデジタル科について、関心が高いことが分かった。まだ情報が少ないことや、デジタル機器を使った学習についてポジティブ・ネガティブ両方の意見があることから、来年度のスタートに向けて、目的や授業の内容などについての説明の機会が必要であると思われる。特にデジタル・シティズンシップについては学校と家庭で連携して取り組むべきものだが、保護者からの認知度は低いため、特に力を入れて認知度向上の取り組みを行う必要があることがわかった。

志賀町立 富来小学校PTA

研究主題

「保護者と教職員とが協働し、防災意識を高めるPTA活動」
「家庭・学校・地域が連携した富来っ子の育成」

近年頻繁に発生する自然災害に備える知識と経験を得ることが必要だと考え、6年生の親子行事を、学校で1泊2日の避難生活を体験する「防災体験合宿」に設定した。避難体験をすることで、いざという時にスムーズに行動できるようにすること。日

頃できないことを仲間と共に挑戦し、協調性や自立性を育てること。また、恵まれた家庭環境の中で生活ができていることに感謝する気持ちと、児童及び保護者双方が家族の大切さを再確認する機会にもなると考え「防災」をテーマに新しい取り組みに挑戦することにした。



段ボールベットの作成

能登町立 能都中学校PTA

研究主題

「今だからできること、そして、今しかできないPTA活動」
「11能登半島地震被災地で生まれた本当の協働」

コロナ禍あけ、活動の見直しを協議し、オンラインを駆使するより、リアルでの活動に重きを置きたいと考え、原点回帰、誰のための、何のための活動なのか？を見つめ直し、あらため組織の改編、「脱」強制、保護者の自主性にシフトした活動に絞り込んで再スタートすることにした。

親子奉仕作業として行った「グラウンド除草作業」は日程を、金曜日夕方と土曜日朝に設定し、都合がつかず時間帯に作業してもらうことで会員個々が「できるときに」参加できるようにし、奉仕作業が生徒たちの活動を支えるものであるという意義が伝わるようにした。

令和6年度石川県小中学校PTA

広報紙コンクール

審査結果

■ 小学校の部

単位PTA名	広報紙名	審査結果
金沢市立 四十万小学校育友会	広報しじま	最優秀賞
白山市立 美川小学校育友会	葵陽	優秀賞
七尾市立 東湊小学校PTA	東湊	優秀賞
小松市立 稚松小学校育松会	育松会だより	優良賞
白山市立 旭丘小学校PTA	あさひっ子	優良賞
金沢市立 杜の里小育友会	広報杜の里	優良賞
金沢市立 押野小学校育友会	おしの	写真賞
金沢市立 富樫小育友会	広報富樫	企画賞
金沢市立 扇台小育友会	ほたる	レイアウト賞
金沢市立 三和小育友会	広報みわ	レイアウト賞

■ 中学校の部

単位PTA名	広報紙名	審査結果
珠洲市立 大谷小中学校PTA	荒波	最優秀賞
白山市立 美川中学校育友会	松陵	優秀賞
金沢市立 大徳中学校PTA	大徳中	優秀賞
能美市立 根上中学校父母と先生の会	根上PTAだより	優良賞
白山市立 北辰中学校PTA	北辰	優良賞
金沢市立 西南部中学校PTA	SEINANBU	優良賞
野々市市 野々市中学校PTA	ののいち	写真賞
金沢市立 高岡中学校PTA	広報 高岡	企画賞

石川の入試情報
総合模試攻略法
石川の厳選塾検索

受験のことはプロに聞こう！受験のプロ集団

学習塾協議会いしかわ

G.K.I.

広域通信制・単位制

松陰高等学校金沢校

リファーレ1F 金沢駅東口より
徒歩約**6分**

「できたらいいな」に応えます。

〒920-0853 石川県金沢市本町1-5-1 リファーレ1F ☎0120-968-389 (受付時間 | 月～金 8:30～17:00)

発行日…令和7年2月20日

発行所…金沢市尾山町10-15 石川県文教会館内 石川県PTA連合会

電話…(076) 261-3887

発行者…宇田 直人 印刷…(株)山越

三行詩コンクール

全部で1217編の応募がありました。ご応募いただきありがとうございます。

小学生の部 学校賞 白山市立広陽小学校

	市町名	学校名	学 年	氏 名
優秀賞	白山市	広陽小	3	久田ゆいと
優秀賞	白山市	広陽小	4	こうさいとうま
優秀賞	野々市市	菅原小	2	はま田音や
優秀賞	穴水町	穴水小	6	田中 慶太
優秀賞	輪島市	町野小	5	柳田 理菜
佳 作	白山市	広陽小	3	高木 莉乃
佳 作	羽咋市	瑞穂小	4	菊井 琉翔

中学生の部 学校賞 穴水町立穴水中学校

	市町名	学校名	学 年	氏 名
優秀賞	羽咋市	邑知中	1	山森 奈南
優秀賞	羽咋市	邑知中	3	藤岡 大和
優秀賞	七尾市	中島中	3	山形 侑愛
優秀賞	穴水町	穴水中	3	山崎 紗菜
優秀賞	穴水町	穴水中	3	沢田 音
佳 作	羽咋市	邑知中	3	松本 七海
佳 作	珠洲市	大谷小中	9(中3)	川端 駿介

一般の部

	市町名	学校名	氏 名
優秀賞	小松市	松陽中	松原久美子
優秀賞	野々市市	菅原小	中川 聡美
優秀賞	志賀町	志賀小	片山 麗
優秀賞	志賀町	富来小	川村 悠子
優秀賞	羽咋市	邑知中	酒井 愛
佳 作	野々市市	菅原小	源 美希
佳 作	羽咋市	邑知小	山岸あき子

令和6年度 優良PTA・功労者表彰

◎令和6年度優良PTA文部科学大臣表彰

小松市立稚松小学校育松会 珠洲市立緑丘中学校PTA

◎令和6年度日本PTA会長表彰

(団体) 加賀市立山代小学校PTA 宝達志水町立宝達中学校PTA (個人) 坂本 啓太 高松 誠

◎令和6年度優良PTA石川県教育委員会表彰

小松市立中海中学校育友会 能美市立辰口中学校PTA 白山市立河内小学校PTA 金沢市立犀桜小学校PTA 金沢市立大徳中学校PTA
かほく市立宇ノ氣小学校PTA 志賀町立富来小学校PTA 七尾市立山王小学校PTA 穴水町立穴水小学校PTA 能登町立能都中学校PTA

◎令和6年度石川県PTA連合会会長表彰 (団体)

加賀市立錦城中学校PTA 小松市立安宅小学校PTA 小松市立第一小学校PTA 白山市立白峰小学校育友会 野々市市立野々市中学校PTA
金沢市立森山町小学校育友会 金沢市立夕日寺小学校育友会 金沢市立鞍月小学校育友会 金沢市立扇台小学校育友会 金沢市立城南中学校PTA
金沢市立兼六中学校PTA 内灘町立清湖小学校PTA 羽咋市立羽咋中学校PTA 七尾市立石崎小学校PTA 輪島市立三井小学校父母と先生の会
珠洲市立上戸小学校PTA

◎令和6年度石川県PTA連合会会長表彰 (個人)

【加賀市】	小田原圭子	【白山市】	杉本 晴樹	【金沢市】	出島 学	【宝達志水町】	杉本 啓樹	【穴水町】	米里 秀昭
〃	高田 樹春	〃	出口 隆行	〃	奥村 葵	【志賀町】	小林 克嘉	【輪島市】	細川 貴子
【小松市】	駒澤 美紀	〃	村本 貴信	〃	石野 秀行	【羽咋市】	堀田 壮一		
〃	若山 弘子	【野々市市】	山岸 敬広	〃	山田 達弥	【中能登町】	野村 桂子		
【能美市】	川形 真哉	〃	豊島 真実	〃	干場 洋	【七尾市】	木村 知巳		
〃	中田 達也	【金沢市】	佐々木花奈	〃	幸野 正幸	〃	高木 伸安		

専門委員会活動報告

総務委員会

委員長 泉 博之

総務委員会では、特色のある活動を行っている学校や長年PTA活動にご尽力された個人の審査をし、表彰をいたしました。また、石川県教育委員会や(公社)日本PTA全国協議会へ推薦をさせていただきます。

令和6年能登半島地震および能登豪雨の支援のため、全国のPTA関係者より集まった支援を、各市町のPTA連合会会長と話し合いをし、迅速に被災された児童生徒や保護者へ届ける活動が続けてまいりました。今回の災害おけるほつと基金の使用に関しても、話し合いをさせていただきます。

今後も、引き続き被災された皆さまへの支援を協議してまいります。一年間ありがとうございました。

研修委員会

委員長 松本 巨市

研修委員会では、保護者として、PTA会員としての資質向上を図るため、また、より良い教育環境の充実と教育活動への積極的な支援に繋げるため、研修会及び関係機関との懇話会を開催いたしました。

まず、単P役員研修会を令和6年7月6日に文教会館にて開催いたしました。講師にサイボウズ株式会社フエローの野水克也氏をお招きし、「子供は地域が育てる」新しい教育チームのあり方」と題してご講演をいただきました。野水氏は、令和6年能登半島地震の被災者でありながら、被災地支援をされてきた。野水氏には、その経験も踏まえた今後の教育のあり方について、お話をしていた

次は、石川県校長会との懇話会を令和

6年9月27日に開催いたしました。県立中学校長会の才鷹会長をはじめ校長会の皆さまと、不登校問題について意見交換を行いました。

また、石川県教育委員会との懇話会を令和6年10月18日に開催いたしました。石川県教育委員会の金子教育次長から、部活動の地域移行について、若木課長から能登半島地震後の学校教育と家庭との連携について、お話をいただき、意見交換を行いました。

研修会や懇話会等を通じて、学びの多い1年でした。協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

子ども教育環境委員会

委員長 増野 裕之

活動報告をするにあたり令和6年元旦に発生した能登半島地震により被災された会員の皆さまにお見舞い申し上げます。元旦の発災時から年度はじめにかけてどこに生活拠点を置けば良いのかわからないまま避難先で新年度を迎えられた方々もいらっしゃると思います。ただ子どもたちは様々な環境下におかれながらもまもなく訪れる進学進級の時を迎えるまでに成長してくれました。とても嬉しく感じています。

子ども教育環境委員会では三行詩コンクールの開催とネットモラルの啓蒙活動を展開しました。

三行詩コンクールでは小学生の部、中学生の部、保護者の部の3部門それぞれから素敵な作品が届けられました。

辛い思いをした中でも嬉しく感じた事。助けてくれた人の様になりたい。

家族がいて良かったなど能登半島地震から感じた想いを綴った作品も見受けられ、今だからこそ共感する内容もありました。ネットモラル啓蒙活動において

①近年多発している特殊詐欺などの犯罪に巻き込まれない様に対策しておく事。

②気づかないうちに加害者にならない様に言葉と文字の伝わり方を教えておく事。

③親が先回りして手を打っておくことかなりの確率で防止出来るという事。

④インターネットという便利なものをきつちり便利に使う知識を教えておく事。

この先の未来を生きる子どもたちの為に常に進化変化していくネット社会に我々大人も勉強し対応していく努力が必要です。

これからも子どもたちに明るい選択肢を与え続けられる様に共に頑張りましょう。一年間ありがとうございました。

いしかわネットワーク委員会

委員長 木村 知巳

今年度も各校の広報紙コンクール審査を行いました。発災して半年以内にもの

かかわらず多くの単位PTAより応募を頂きました。斬新なデザインが施された作品や担当されている方々の努力が窺えるアットホームな作品、自慢の我が校を前面に押し出した作品など甲乙付けがたく代表校選出に時間が掛かりました。中には発災後の発刊作品もあり、ライフラインがままならない状況下でも子どもたちだけでなく日常を取り戻してあげたいと思つPTAの皆さまの努力が垣間見える作品もありました。私も単位PTAで広報紙を担当しており、とても刺激を受けました。改めて「コミュニティの大切さ」やPTAの大切さを実感できた1年だったと思います。

「PTAいしかわ」184号につきましては単位PTA役員研修会の様子などを掲載しました。県PTA連合会ホームページで今まで発行されたPTAいしかわをご覧頂けます。今年度の主題「基本方針・活動努力目標」にもありますように自分自身がPTA活動に参加できたことによつて様々なことを学び、軽微ではありますが自身の成長にもつながり、子どもたちにもより多くの行事や貴重な体験を提供できたのではと振り返っております。

最後になりますが、広報紙コンクールにつきましては、より多くの単位PTAに参加して頂きたく存じます。多くの方々に自分たちの活動内容を知ってもらえ、かつかけとなり、より多くの集いや絆が生まれ、と思ひます。広報紙に携わっている方々の励みにもなります。今より多くの応募をお待ちしております。今年度も1年間ありがとうございました。

家庭教育委員会 委員長 松川 千絵

本年度は、能登半島地震後の豪雨災害、と自然の猛威をまざまざと見せつけられた1年となりましたが、無事に3回の委員会を行うことができました。

第1回は、各市町の家庭教育委員会から、昨年度の取り組みや方針・事例等を報告してもらいながら情報共有を行いました。能登地域から参加してくださった委員さんからは、被災地の現状についても伝え、もらい、あまりの被害の大きさに涙を流す委員さんもありました。こういった現場の話を聞ける機会となったことも、有意義だったと感じました。また、保護者という共通の立場もあり、今の関心事や心配事についても意見を交換し合うことができ、いつも多くの気づきや学びを得ています。本年度の家庭教育委員会研修の取り組みについてアイデアを出し合う時間も設け、大変盛り上がりしました。皆さま、それぞれ今の市町に必要な研修内容を真剣に話し合いました。地震や豪雨災害が



運動+学習で
笑顔とやる気を育めます!

運動療育
すまいるプラスのまち教室 TEL 076-244-2112
すまいるプラスみなみ教室 TEL 076-244-5880
すまいるプラスひきだ教室 TEL 076-253-2388
すまいるプラスのいち教室 TEL 076-227-8808
すまいるプラスたかお教室 TEL 076-220-7543

個別指導型学習支援
放課後プラスいずみの教室 TEL 076-245-0322
放課後プラスえきにじ教室 TEL 076-282-7080

株式会社ING
児童発達支援事業
放課後デイサービス
プラスグループ
https://plus-group.jp/

体験受付は本部まで

TEL 076-259-5372
info@plus-group.jp

〒921-8116
金沢市泉野出町3丁目11番3号
NSビル3階

一緒にずっと。安心をもっと。

あなたを、もっと笑顔に。

創業の理念「共存同栄」「相互扶助」のもと、これからも皆様の大切な笑顔のために安心と安全を提供してまいります。

共栄火災海上保険株式会社
北陸支店 金沢第一支社
〒920-0919 石川県金沢市南町5番16号
TEL. 076-261-9297 https://www.kyoeikasai.co.jp/

共栄火災



石川県
PTA連合会
ホームページに
アクセス!